

昇龍の夢

(平成九年度寮歌)

長谷川健君 作歌
石井英一君 作曲

流転行路に我仰ぎ見る
もいろぞら　りゆう
桃色空に龍の雲
われしよりゆう　ゆめ
我昇龍の夢に入る……

霞こめ雄き林を抜け出でて
かすみ　たけ　はやし　ぬ
辿り着きし我がふるさとの
たど　つ　わ
垣根は山河陽はおちて
かきね　さんが　ひ
大いなる水海に月映ゆる
おお　うみ　つきは
ふるきよき力強きふるさとに
ちからつよ
はぐくまれし嗚呼我は
ふえ　おも　あ　あわれ
不壊の哲い引き提げて
りゆう　のほ　さ
龍のごとくに昇りゆく
りゆう

しかれどもいつしか其れも身を移し
むかし　しの　わ　れ
昔を偲ぶ此の我に
とき　なが　かん
時の流れを感じつつ
いま　み　わた
今あたりを見渡せば
あた　せ　かい　ひろ　あた　ら
新しき世界の広がり新しき
もの　ここに　見て　我　想　う
かれ　おも　ひ　さ
「彼の哲い引き提げて
わ　か　ち　から　の　ほ
若き力で昇りゆけ」
ふと仰ぎ見る　紅　空　に
りゆう　く　も　か　た　な　が
龍の雲は形くずし流れゆく